

# ADOBE® CREATIVE SUITE® 3



アドビシステムズ社（以降、アドビ社）CEOのブルースチゼン氏は「ADOBE® CREATIVE SUITE® 3（以降、Adobe CS3）は会社設立以来の25年間で最大のローンチ（Launch）です」と語っています。なぜ「最大のローンチ」なのでしょう。この記事では、2007年6月下旬から出荷が予定されている Adobe CS3 の概要や新機能を紹介します。

## 過去最多の同時製品発表

ご存知の通り、アドビ社は2005年4月にマクロメディア社の買収を発表しました。その買収完了後、初めて出荷される旧マクロメディア製品を含むスイート（SweetではなくてSuiteです）が、Adobe CS3です。

加えて、アドビ社にとって過去最多の同時製品発表ともなります。なぜならば、Adobe CS3は18の単体アプリケーションと、それらを組み合わせた5つのスイートから構成されているからです（製品構成については別表をご覧ください）。これは驚くべき数字ではないでしょうか。

## Adobe CS3 の特徴

まず感じるのは、アドビとマクロメディアという2つの企業が育ててきた製品の統合感であり、UIの統一感、製品間のスムーズな連携などが特徴となっています。

また、最新のOSやパーソナルコンピュータに対応しています。Windows Vistaはもちろんのこと、Macユーザー待望のインテル社製プロセッサを搭載したMacintosh（通称インテルMac）にも対応しています。

さらに、今回からパッケージの装いが新たになりアプリケーションごとのキーカラーが決まっていますし、アイコンも製品名をベースにしたデザインに変更されました。これまでの蝶や羽や花、古くはヴィーナスに慣れしんできたユーザーにはちょっと物足りないかもしれませんが。

## 新機能

使い勝手の向上という点に加えて、オツと声を上げてしまうような新機能があります。その中でも、ADOBE® InDesign® CS3、Illustrator® CS3、Photoshop® CS3に搭載された新機能のハイライトを紹介したいと思います。

## InDesign CS3 の新機能

### ● 透明およびオブジェクト効果

効果の種類にベベルとエンボスなどが加わりました。オブジェクトだけでなく、テキストフレームを対象に効果を設定することもできます。

### ● InDesign ファイルの配置

InDesign ファイルを InDesign の中に配置することができるようになりました。この機能により小ゲラ／大ゲラの組版が容易になります。

### ● 検索と置換

通常のテキスト検索に加えて、GREP 検索（正規表現）、字形検索（GID/CIDも可）、オブジェクトの検索、文字種変換（半角カタカナを全角カタカナに）などかなりの機能強化が図られています。

### ● XML Rules

今回から XML Rules-Processing Engine が搭載されました。この詳細については別の機会に紹介できればと思います。

## Illustrator CS3 の新機能

### ● ライブカラー

ライブカラーダイアログを利用することによって直感的にカラーバリエーションを作成することができます。構成するカラーのバランスを保持したままカラーを定義することもできますし、アートワークの減色も可能です。

### ● 消しゴムツール

ご存知の通り Illustrator のオブジェクトはパスで構成されているベクターグラフィックです。消しゴムツールはオブジェクト自体を削除するだけでなく、オブジェクトの一部を消去することも可能です。まるで Photoshop でピクセルを消すかのように。

### ● テキストのバージョン互換

Illustrator バージョン 10 までと CS 以降ではテキストエンジンが異なっています。そのため以前のバージョンで作成したファイルを CS 以降で開くと文字がずれる（リフローする）という問題が生じました。CS2 までは手動で文字間隔を調整する必要がありましたが、CS3 からはテキスト位置を元のまま配置できるようになりました。

### PhotoshopCS3 の新機能

#### ● パフォーマンスの向上

豊富な機能と引き換えのパフォーマンスの低下にストレスを感じた方は少なくないと思います。CS3 では起動時間が約 20%、機能パフォーマンスが約 40% 改善されているそうです。確かに体感スピードが向上しています。

#### ● スマートフィルタ

オブジェクトをスマートフィルタ用に変換することにより、非破壊でフィルタ処理を行えるようになりました。レイヤーパレットを使って複数のフィルタ効果の順番を入れ替えたり、非表示にしたりできます。

#### ● 色調補正 (モノクロ化)

色調補正に白黒化 (モノクロ) 機能が加わりました。各色 (R,Y,G,C,B,M) の階調の調整を容易に行えます。さらに幾つかのプリセットが用意されています。

#### ● トーンカーブ

トーンカーブダイアログが強化されています。ヒストグラムを表示することができますし、各チャンネルごとの調整カーブを重ねて表示することが可能になりました。

### まとめ

過去最多の同時製品発表数、ユニバーサルバイナリ (インテル Mac) 対応、幾つもの新機能に加えて既存機能の強化や使い勝手の向上。それが過去最大のバージョンアップであり、過去最大のローンチといわれる理由です。この記事では 18 もあるアプリケーションのうち 3 製品の、しかもほんの一部分しか紹介することができませんでした。Adobe Creative Suite 3 の持つ魅力を垣間見ることができたのではないかと思います。アドビ社が掲げるテーマ「CREATIVE FREEDOM 自由×自在」の通り、Adobe Creative Suite 3 はその使い手にとって有用な道具になることを期待できるはずです。

(K.N)

このパッケージショットは、Adobe Systems Incorporated の許諾を得て使用しています。Adobe、Adobe ロゴならびに CreativeSuite は Adobe Systems Incorporated の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

	Creative Suite 3					
	Design Standard	Design Premium	WebStandard	WebPremium	Production Premium	Master Collection
InDesign CS3	●	●				●
Acrobat Professional 8.0	●	●		●		●
Photoshop CS3 Extended		●		●	●	●
Photoshop CS3	●					
Illustrator CS3	●	●		●	●	●
Flash CS3 Professional		●	●	●	●	●
Dreamweaver CS3		●	●	●		●
Contribute CS3			●	●		●
Fireworks cs3			●	●		●
After Effects CS3 Professional					●	●
Premiere Pro CS3					●	●
Soundbooth CS3					●	●
Encore CS3					●	●
On Location CS3 (旧 DV Rack)					▲	▲
Ultra CS3					△	△
Adobe Bridge CS3	●	●	●	●	●	●
Device Central CS3	●	●	●	●	●	●
Version Cue Server CS3	●	●	●	●		●

▲ : Windows 版のみ、ただし Macintosh 版 Premiere Pro、Production Premium、Master Collection にも含まれる

△ : Windows 版のみ。Macintosh 版製品には同梱されない